

平成15年に行われた水防活動について

水防活動とは

毎年のように水害に見舞われる我が国では、河川管理者が実施する治水施設の整備と市町村・地域住民が実施する水防活動が「車の両輪」となって水害被害の拡大を防いでいます。

水防とは自らの地域を自らの手で守る自衛の減災活動であり、その中心となるのが水防団・消防団です。

平成13年の高知県西南部豪雨では、最大1時間雨量が111mmにも達する豪雨等により土砂や倒木が沢を流れ下る「沢抜け」があちこちで発生し、多数の家屋被害が出たにもかかわらず、消防団員の的確な判断と迅速な行動による避難の呼びかけや救助活動、住民同士の助け合いにより死者・行方不明者が0で済みました。

昨年の水俣市宝川内集地区では異常な大雨に危険を感じて避難を呼びかけに回っていた消防団員が土石流に巻き込まれて亡くなるという痛ましい出来事がありました。水防活動・消防活動が、このような命がけの危険と隣り合わせの状況下で行われる尊いものであることを改めて思い起こさせました。**水防活動・消防活動は、危険がある中で地域の生命・財産を災害から守るために行われる尊い活動です。**

水防活動は毎年全国で行われ、水害被害を軽減する重要な役割を果たしているにもかかわらず、高齢化の進展や遠距離通勤者の増加などにより**水防団員の確保が難しく、地域住民の水防意識も低下しているなどの課題を抱えています。**

このページでは、昨年も全国各地で行われた水防活動を中心に水災防止の活動とりまとめて紹介し、国民の皆様幅広く知っていただくことにより水防への理解と水防思想の普及を図ることを目的にしています。

全国の水防活動状況

H15.6.1～10.31における水防活動状況

洪水予報が全国の54河川で発表。

(洪水予報指定河川総数205)

水防警報が全国の330河川で発令。

(水防警報指定河川総数1,812)

43都道府県の延べ631水防管理団体が出動。

(全国総団体数約3,165団体)

延べ29,019人が水防活動に従事。

(全国総団員数約959,805人)

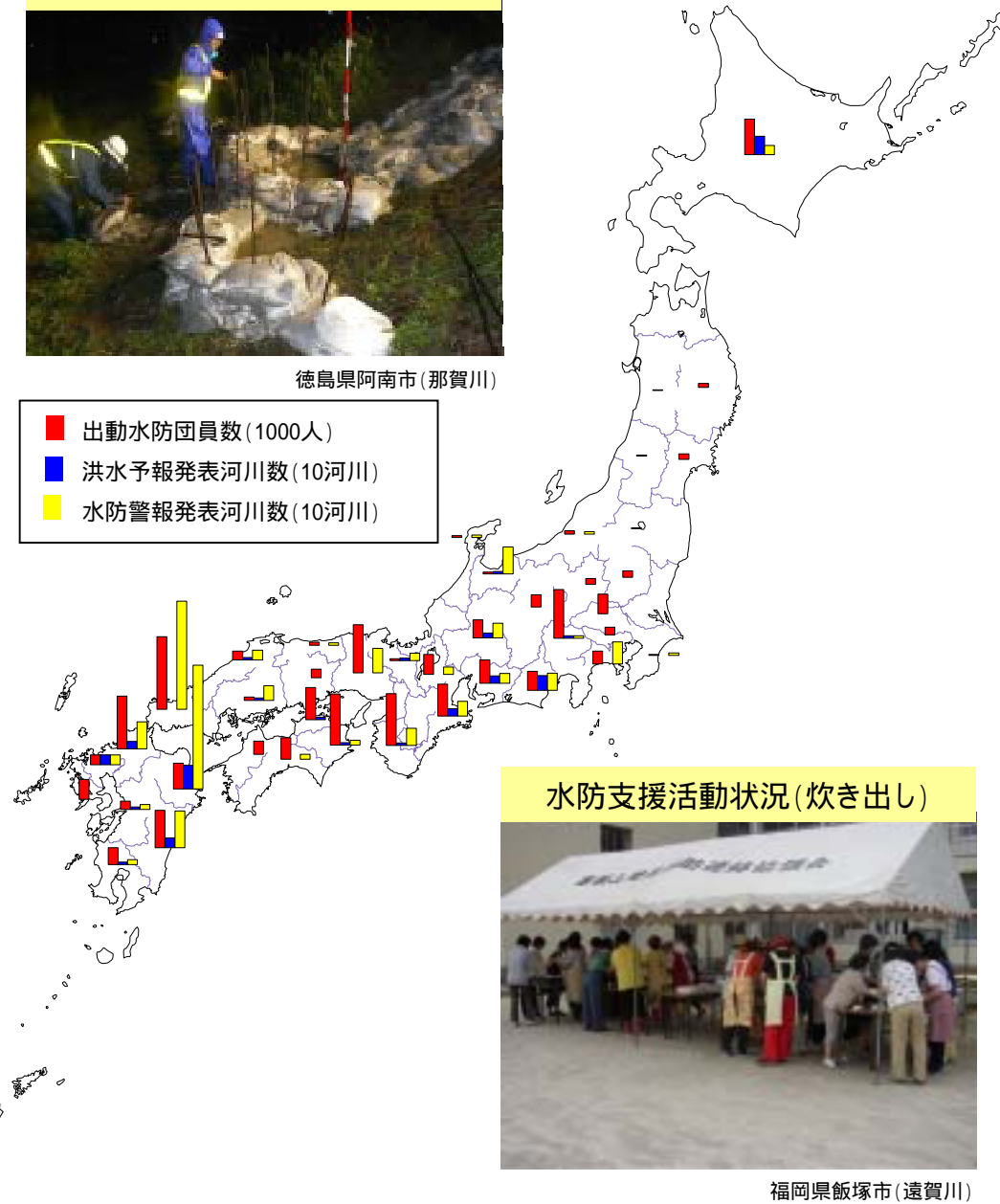
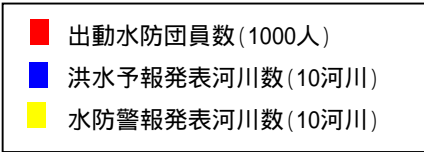
巡視、土のう積工、月の輪工等の水防活動実施。

排水ポンプの設置・操作補助、炊き出し等の水防活動および被災者支援活動が自主防災組織等により実施。

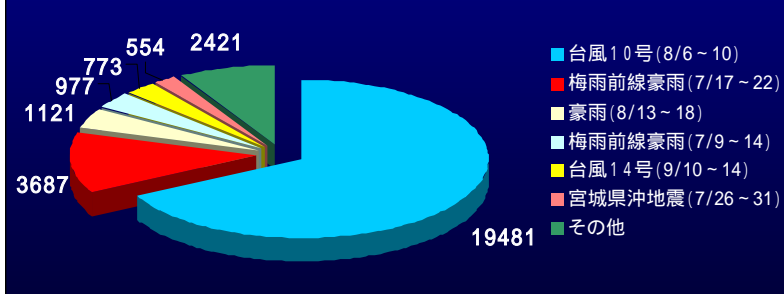
水防活動状況(月の輪工)



徳島県阿南市(那賀川)



水防団員出動数(H15.6.1～10.31)



水防支援活動状況(炊き出し)



福岡県飯塚市(遠賀川)

梅雨前線豪雨（7月17日～22日）における水防活動状況

気象概要

日本列島上の梅雨前線活動は7月後半に入ってから活発化し、18日には西日本の所々で日雨量100mmを超える大雨となりました。梅雨前線は九州北部に停滞し、19日未明には福岡県を中心にして日雨量300mmに達する激しい雨となりました。その後も、梅雨前線は九州北部に停滞を続け、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだために前線活動は更に活発化し、19日夜半から20日明け方にかけて長崎・熊本・宮崎・鹿児島各県を中心に局地的に非常に激しい雨を降らせました。

被害状況および水防活動状況

福岡県をはじめ全国16県において延べ3,687人が水防活動に従事しました。

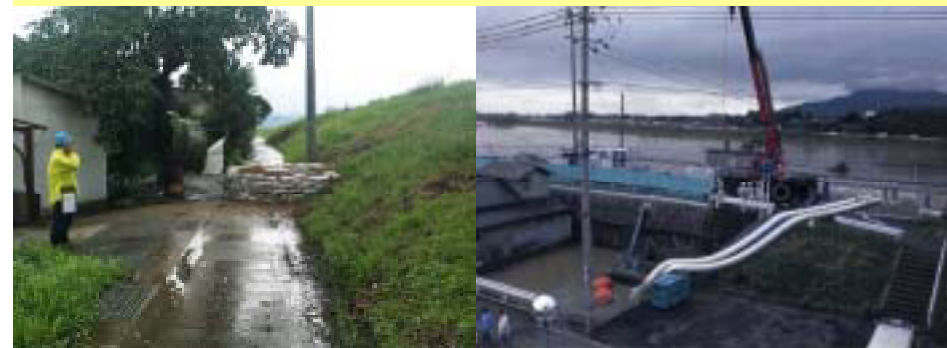
死者・行方不明(人)	(負傷者・軽症)(人)	(一部損壊)(棟)	(住家被害)(全壊、半壊)	床上浸水(棟)	床下浸水(棟)	被公土木施設報告額(億円)	延べ出動団体数(団体)	延べ出動団員数(人)
23	25	268		3,558	4,188	298	71	3,687

※一般被害：平成15年9月9日18時30分現在(消防庁発表)

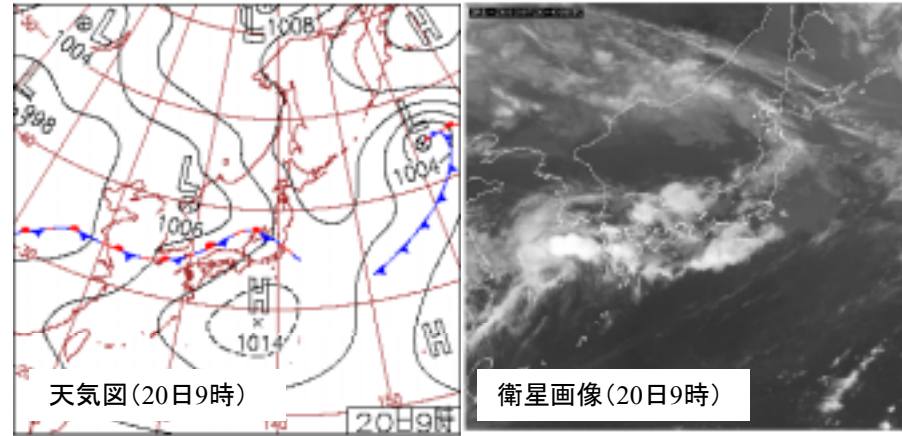
被災状況（遠賀川、福岡県飯塚市）



水防活動状況（左：月の輪工、右：ポンプ排水）

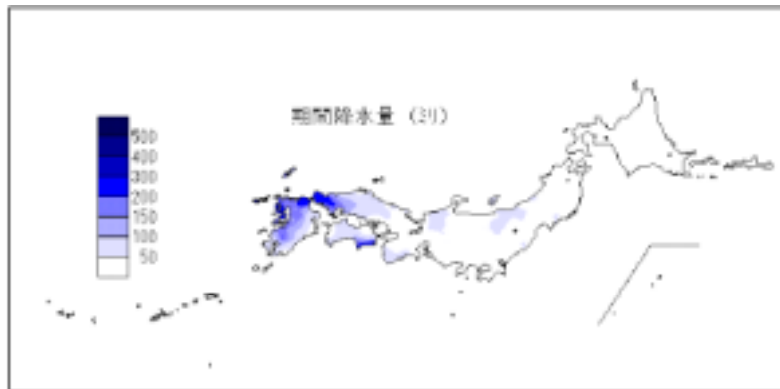


※左右ともに福岡県飯塚市



天気図(20日9時)

衛星画像(20日9時)



宮城県北部地震（H15.7）における水防活動状況

被害状況および水防活動状況

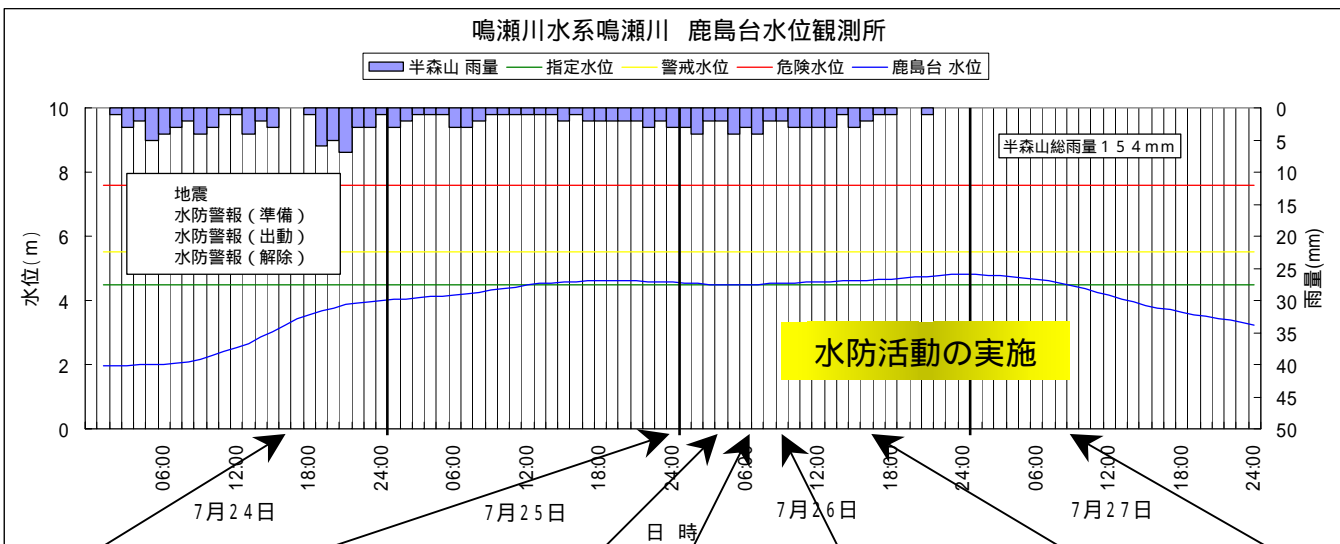
7月26日の宮城県北部地震による堤防の被災【クラック、法面崩壊】に対して宮城県では延べ554人が出動し、水防工法（シート張り工）等により水害の未然防止を行いました。

また、7月26日の地震発生から約2週間が経過した8月6日、台風10号が接近し出水が予測されるため、北上川下流河川事務所では関係町長に対し地震による災害を受けたことにより水防警報（出動）の発令基準を下記の通り変更して運用する旨を通知し、水災防止体制の強化を図りました。

「警戒水位を超え又は超える恐れ・・・」 「指定水位を超え又は超える恐れ・・・」

（負傷者・軽症） （人）	（住家被害） （一部損壊）半壊、 （全壊）半壊 （棟）	公共土木施設 被害報告額 （億円）	延べ出動団体数 （団体）	延べ出動団員数 （人）
677	15,920	207	2	554

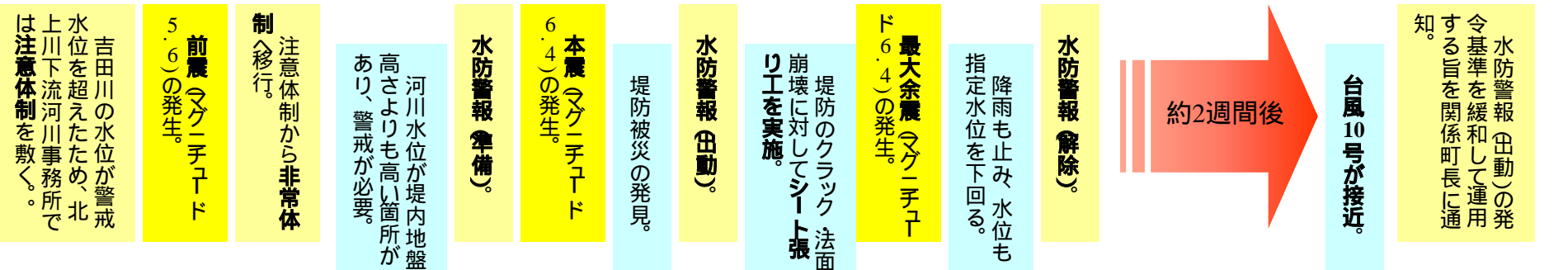
一般被害：平成15年12月8日11時30分現在（消防庁発表）



水防活動状況（シート張り工）（7月26日）



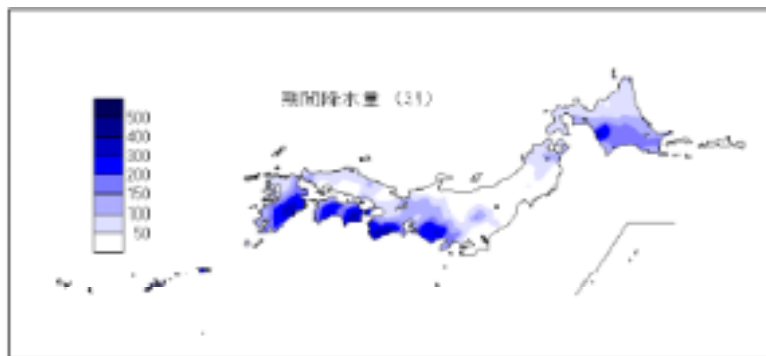
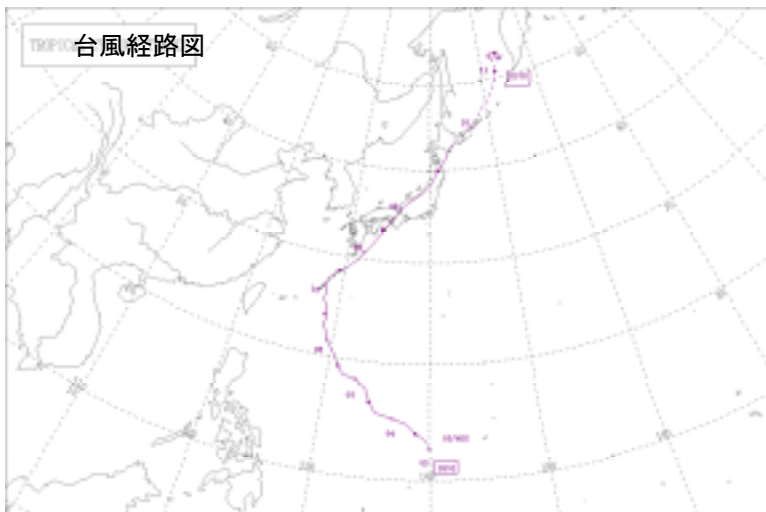
宮城県（鳴瀬川）



台風10号（8月7日～11日）における水防活動状況

気象概要

8月3日にフィリピンの東海上で発生した台風10号は、発達しながら北西に進み、7日に沖縄本島を通過、8日早朝にかけて奄美諸島沿いに進みました。中心気圧950hPa、最大風速40mと強い勢力を保ったまま、8日21時半頃に高知県に上陸、9日6時頃には兵庫県に再上陸しました。その後、台風は次第に勢力を弱めながら北陸・東北地方を進み、10日早朝に北海道東部を通過した後、国後島付近で温帯低気圧に変わりました。



※気象庁HPより引用。(16年1月13日時点)

被害状況および水防活動状況

北海道、徳島県をはじめ全国24都道府県において延べ19,481人が水防活動に従事しました。

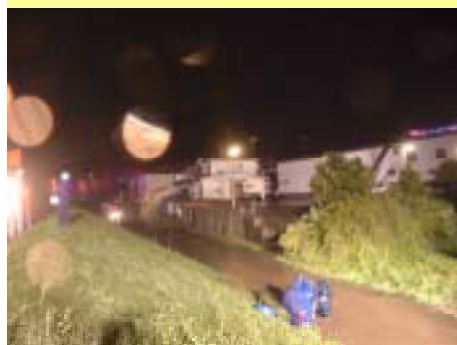
死者・行方不明 (人)	（負傷者・軽症） （重症）	（一部損壊） （全壊、半壊）	（住家被害） （棟）	床上浸水 （棟）	床下浸水 （棟）	公共土木施設 被害報告額 （億円）	延べ出動団体数 （団体）	延べ出動団員数 （人）
19	94	614	389	2,009	1,020	316	19,481	

※一般被害：平成15年10月15日13時30分現在（消防庁発表）

被災状況（沙流川、北海道栄町）



水防活動状況（左：河川巡視、右：月の輪工）



※左：北海道門別町（沙流川）、右：徳島県阿南市（那賀川）

水災防止対策の充実（1/2）

都道府県知事による洪水予報河川の指定

平成13年6月の水防法改正により、都道府県知事により洪水予報河川の指定が可能となりました。平成16年1月時点で全国7府県の8水系12河川が洪水予報河川として指定されています。

平成15年6月1日～10月31日の間に新川(愛知県)、長良川(岐阜県)、太田川・原野谷川(静岡県)、有田川(和歌山県)の4水系5河川において洪水予報が発表されました。

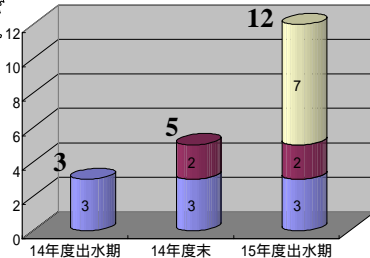
洪水浸水想定区域図/洪水ハザードマップの公表

平成13年6月の水防法改正以後、国土交通省および都道府県では、浸水想定区域図等の提供を行っています。平成15年11月末時点で、国土交通省では全国の96水系163河川において、都道府県では8水系12河川において浸水想定区域図の指定・公表が行われています。

市町村では、浸水情報に避難地や避難経路の情報などを具体的に表示した洪水ハザードマップを作成しています。平成15年7月末時点で全国の253市町村において公表されています。

都道府県名	水系	河川名
青森県	堤川	堤川
		駒込川
静岡県	太田川	太田川
		はらのやがわ原野谷川
愛知県	庄内川	新川
岐阜県	木曾川	長良川
	神通川	宮川
	飛騨川	飛騨川
大阪府	大和川	石川
和歌山県	有田川	有田川
山口県	錦川	錦川
		もんぜん門前川
	9水系	12河川

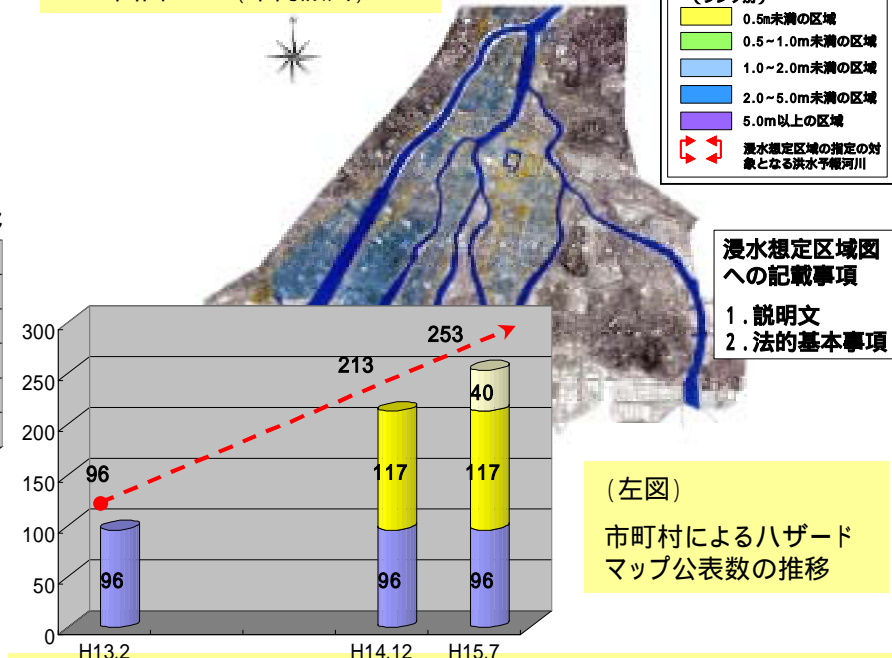
都道府県知事による洪水予報指定河川数の推移



15年度の洪水予報発表概要

都道府県	河川	関係市町村	異常気象	予報期間	予報の種類
愛知県	新川	名古屋市	梅雨前線	6月25日	注意報
		小牧市	梅雨前線	7月3日～4日	注意報
		稲沢市	豪雨	7月12日	注意報
		他	豪雨	7月13日～14日	注意報
岐阜県	長良川	岐阜市 他	台風10号	8月9日	注意報
静岡県	太田川 原野谷川	磐田市	台風10号	8月9日	注意報
		掛川市 他			
和歌山県	有田川	有田市、吉備町、金屋町	台風10号	8月9日	警報

太田川浸水想定区域図
< 図面No.10(市内派川) >



浸水想定区域図およびハザードマップの公開状況については下記URLをご参照下さい。

<http://www.mlit.go.jp/river/saigai/tisiki/syozaiti/index.html>

水災防止対策の充実（2/2）

防災情報提供の推進

国土交通省および各都道府県、市町村では、リアルタイム雨量や河川水位等の情報をインターネットや携帯端末等により提供する取り組みを進めています。

昨年の風水害でも、北海道や福岡県ではこれらの情報が水災防止活動に役立てられました。

防災情報提供センター : <http://www.bosaijoho.go.jp/>

北海道 川の防災情報
<http://www.river.go.jp/hokkaido/>



福岡県河川防災情報
<http://www.kasen.pref.fukuoka.jp/>

福岡市防災対策情報
<http://bousai.city.fukuoka.jp/>



地下浸水対策の推進

福岡市では、平成15年7月の梅雨前線豪雨により、平成11年6月の被災と同様に地下浸水被害に見舞われました。

前回は上回る降雨があった中で、地下空間管理者による積み土のうや遮水壁の設置など懸命の水災防止活動が行われましたが浸水被害が発生しました。今後更なる地下浸水対策の充実努める必要があります。



(右上段)福岡駅前

(右中段)遮水壁設置状況

(左中段)遮水壁設置状況

(右下段)積み土のう実施状況

(左下段)地下駅内

